

花粉症 ～初期療法のすすめ～



2月といえば、かゆみやくしゃみなど、スギ花粉症の症状で悩む方たちにとってはつらい時期が始まるころですね。今年、四国は2月上旬ごろからスギ花粉の飛散が始まり、例年より多いことが予想されています。（NPO 花粉情報協会発表データより）

花粉症対策として、マスク、ゴーグルタイプの眼鏡を装用する、こまめな掃除、外から帰ったら上着を脱ぐなど、花粉を避けるセルフケアとともに、適切な時期から、内服薬、点眼薬、点鼻薬などで治療することが大切です。

眼の症状については、花粉の飛散が始まる2週間前、あるいは症状が始まった早い時期に点眼薬を毎日、決められた回数点眼することで、症状の発症時期を遅らせる、症状を和らげることができることが分かっています。

毎年花粉症による目の症状がみられる方は、早めに眼科にて相談されることをお勧めします。日によって変動する花粉の飛散量を知る方法には、テレビやインターネットのほか、携帯アプリなどもあります。当院には“かゆみダス”というアプリのパンフレットも置いてありますので、ぜひ活用してみてください。



院長より

今年の節分は2月2日でしたが、2月2日が節分となったのはなんと、124年ぶりだったそうです。“コロナは外、福は内”と豆まきをした方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。（私もその一人です）早く安心して過ごせる春が来ますようにと願いつつ、なお一層、感染対策に力を入れて皆様の目の健康にお役立ちたいと思っております。

花粉症です

編集者より

私も毎年、花粉症に悩まされています。早めの対策でマスクや目薬をして花粉の時期を乗り切っています。少しでも快適な毎日が過ごせるように花粉症と上手く付き合っていきましょう！



休診のお知らせ

3月17日(水)、4月8日(木)は休診いたします。
大変ご迷惑をおかけいたしますがよろしく願いたします。

HPにてスタッフブログも更新中です！

morishita-eye.jugem.jp

